



プロバスだより

第314号

2022年1月13日発行

編集・発行 情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立 1995年10月18日

2021～2022年度 テーマ

プロバスライフを「元気に楽しもう」

臨時総会

日時 令和3年12月9日（木）
場所 八王子エルシィ
出席者 総会 35名
(会員総数 52名、欠席 16名、休会 1名)

1. 開会 齊藤例会委員長

臨時総会を開催します。

2. 会長挨拶 河合会長

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、河合会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記・議事録署名人の選出

書記に土井俊玄会員、議事録署名人に浅川文夫会員、岡本宝蔵会員が選任された。

5. 議事

議案は配布されているので、項目のみを記載。

第Ⅰ号議案「第26期生涯学習サロン特別会計予算書（案）」

第Ⅰ号議案については馬場地域奉仕委員長から説明があり、審議の結果賛成多数で可決承認された。

第Ⅱ号議案「委員会の改編等に伴う規定の改正について（案）」

第Ⅱ号議案については山口幹事から説明があり、一部修正の上、賛成多数により可決承認された。

内容は、「東京八王子プロバスクラブ会則第9条（役員）」の「11名」を「11名以内」に改める。

同じく「会則第10条（役員の任期）」の「1年とし」を「1年とし、再任を妨げない」に改める。

「東京八王子プロバスクラブ運営細則」の第1条のうち会員委員会と研修委員会を統合し、「会員・研修委員会」と名称を改め、4委員会とする。

第6条と第7条を一本化した表現に改正し、以下第8条を第7条に、第9条を第8条に改正する。

6. 閉会

第314回例会

出席者 出席者 36名 出席率 69.2%
(会員総数 52名、欠席 15名、休会 1名)

1. 開会 浅川文夫例会委員

2. 会長挨拶 河合会長

改めまして、皆様今日は。昨日・今日と大変寒い「冬日」ではありますが例会へのご出席ありがとうございます。

只今の臨時総会では、提出案件2件のご承認ありがとうございました。

また、11月の特別例会は大変な盛り上がりを見せ、素晴らしい内容でした。特別参加の皆さまからも、高い評価を頂きました。ご担当の例会委員会と尽力頂いた関係各位に心から御礼を申し上げます。

早いもので、今年度も早くも半分が過ぎようとしております。コロナ禍のために、何かと落ち着かない半年間でしたが、皆様方の御協力で、何とか8割方の運営ができたかなと自賛しております。

最近、日本ではコロナが下火になり、不思議なほど落ち着いております。専門家も何でこんなに感染者数が減少したのか、その要因が解らないという話です。名実ともに終息を迎えないと不安が残りますので、プロバス活動も今まで通り、用心しつつ慎重に取り組んで参りたいと考えます。

最近心配なことは、新たに「オミクロン株」とい



うコロナが蔓延し始めていることでもあります。幸い日本では、まだ国内感染は起きていませんが、専門家の見解では、来年の2・3月頃には、流行の波が起るのではないかと予測もされております。暫くは細心の注意が必要かと思えます。

今日は本年最後の例会であります。皆様の御協力を得て、スムーズに進行できたらと思っております。どうぞよろしく願い致します。

3. ハッピーコイン披露

池田副会長からハッピーコイン 17 件の披露がありました。(3 ページに掲載)

4. 卒寿のお祝い

東山榮会員が卒寿を迎えられました。お礼の言葉を頂きました。



5. 12月のラッキーチャンス

今月のラッキーチャンス当選者は飯田会員、塚本会員、鈴木会員でした。



6. バースデーカードの贈呈

12月生れの会員に池田会員手作りのバースデーカードが贈られました。



写真左から、齊藤万理子会員、飯田富美代会員と会長

7. 幹事報告

山口幹事

コロナの感染者数ですが、日本では低く抑えられているものの、欧州等多くの国々では多数の感染者が出て、その強い伝染性が危惧されています。

おまけにオミクロン株と言う従来型とは違った変異株まで出てきました。大したことにならない事を強く願っています。

さて、本日の例会での座席ですが今回も学校スタイルとなっております。実は円卓方式に差し替えるべく先日の理事会でも議論しました。様々な意見があったのですがもうしばらくの間、学校スタイルで行こうと言うことになりました。どうぞ了解下さい。



本日の臨時総会におきまして2件の承認を頂きました。

1件は学習サロンの特別予算、過去コロナ禍により2か年連続して止む無く中止となり、今年度は3年ぶりの開催となります。

サロン会員も高齢となり、今回は貴重な意味ある開催になると思っています。

是非とも会員の皆様全員の協力を得て盛大に開催したいと思います。

次に規約改正の件、

会員の高齢化に伴い様々な課題が待ったなしとなって来ています。

現在の平均年齢は81.5歳。円滑な運営のためには今後ともいろいろな改善が必要になるかも知れません。この点についても会員各位のご協力よろしくお願いしたいと思います。

8. 委員会活動報告

(1) 情報委員会

内山委員長

今日、皆さんにお配りしましたプロバスだよりは特別例会に出展されたものを掲載しましたので8ページ立となりました。コロナ禍などがありましたので、8ページ立で発行出来たのは、1年ぶりのこととなります。

写真を提供していただいた写真同好会などの皆さん方に感謝いたします。有難うございました。

もう一点、毎回申し上げておりますが、寄稿文が不足しております。是非皆様方のご協力をお願いいたします。

次に、ホームページへのアクセス数は271件ありました。前月より40件ほど増えております。

(2) 交流担当

一瀬理事

高尾山の下見を実施、薬王院の事務所とも詳細な

打ち合わせをしてきました。当日は好天で来年もかくありたいと強く念じました。きれいな紅葉のもと人出もかなりなもので、とにかく「早く行って早く帰ってくることを」を基本に護摩、記念写真撮影、講話、会食などのスケジュールを組み立てます。またアクセスのための山上の車手配も無理なことが分かりました。雨天の場合のキャンセル・決行のいくつかのシナリオの検討も必須です。杉山、飯田両会員のご努力で八王子観光コンベンション協会の支援も得られることになりました。今後中身を詰めていきます。

交流会のプレゼンクラブとしてプロバスクラブ松任、びわ湖大津プロバスクラブの快諾を得ました。わが東京八王子がキーノートとして3クラブでのプレゼンということで企画を進めます。(他クラブは誌上参加)。また懇親会のサービススタッフとして日本遺産の一要素である八王子芸妓を八王子文化の発信という意味で加えることとしました。

(3)「小・中学校音楽祭」報告 杉山Pリーダー

創立25周年記念の積み残し事業であった「小・中学校音楽活動優秀校音楽祭」については、各出演校も万全の準備に入っており、本日お配りした「事業チラシ」の通り、来春3月20日(日)いちようホールで実行致します。会員の皆様の日程調整のほどよろしくお願い致します。

9. 八王子いちよう祭り

岡本 宝蔵

今年度は「八王子いちよう祭り」と「日本遺産認定記念事業」の2本だての活動が行なわれ、「日本遺産認定記念事業」では11月に3日間「陵南いちよう会館」で受付・案内・資料配布等の事業に参加しました。

一方、「いちよう祭り」は11月20日・21日の両日に行なわれ、陵南公園分園の会場で受付・資料配付等の事業に協力しました。



無事に事業を終了、参加者は45万人を超える規模でした。この活動に協力して頂いた八王子プロバスクラブの会員の方々に御礼申し上げます。



10. プロバス賛歌斉唱

起立・黙唱



11. 閉会

池田副会長

臨時総会、例会と続いてお疲れさまでした。

会の運営を円滑にするには、会則の変更だけではなく委員会の枠を越えた日常の助け合いが肝要と思います。

皆さんの一層のご協力をお願い致します。



◆第2回八王子いちよう祭り、大きな事故もなく無事に終了できましたのもプロバス会員の皆様のご協力、ご支援のお蔭と感謝申し上げます。来場者数は20日220,000人、21日235,000人、合計の来場者数は455,000人でした。ご報告と共にお礼申し上げます。

岡本 宝蔵

◆盛岡、宮古、釜石、遠野、釜石、気仙沼と電車旅をしてきました。10数年前の風景との違いに改めて震災の大きさを感じ、心が傷みました。

有泉 裕子

◆特別例会時には多くの皆様のご協力を頂き有難うございました。特に作品展では50点近い出展があり、大変素晴らしくよかったです。

飯田富美子

◆12月13日が誕生日です。誕生カード有難うございます。お陰さまで今日まで健康に過ぎて来られましたのも多くの方々に支えられたことは大ですが、特にプロバスの皆様の支えは大きいです。今後ともよろしくお祈りいたします。
飯田富美子

◆11月特別例会の作品展には、会員の皆様から多くの作品を出品して下さいまして有難うございました。皆様のかくれた才能にびっくり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。係より。
根本 照代

◆今回は、卒寿記念で大変なお祝いを頂きまして誠に有難うございました。次は100歳を目指します。今後共よろしくお祈りいたします。
東山 榮

◆例会がエルシィで久し振りに開催されました。そこで一首「例会を一年振りにエルシィの古巣に戻り心安らぐ」Happy!
持田 律三

◆皆様のご支援で今年度の前半も終わりました。あと6ヵ月、コロナに負けず頑張ります。どうぞご協力。
河合 和郎

◆今年最後の例会を迎えました。1年間コロナウイルスに振り回され残念ながら休会を余儀なくされたことも度々でした。来年は楽しい例会が開けますよう祈るばかりです
内山 雅之

◆孫が警視庁に入り、玉川署に配置になりました。3世代続けての治安維持の任に当たっています。
井上 克

◆年の瀬、プロバスの例会が開かれる日常の有難さに感謝して。
杉山 友一

◆今年1年楽しい例会を有難う。来年もよろしくお祈りいたします。
野口 浩平

◆先日、来年の八王子大会でのエクスカッションが予定されている高尾山の下見を実施しました。来年にとっておきたい様な好天でした。成功を期したいと強く思いました。
一瀬 明

◆2年振りに飛行機に乗って鹿児島島の昔の仲間と旧交をあたためました。以前なら当たり前でできた事ではありますが、2年のブランクは大きいですね。
一瀬 明

◆コロナ禍の中、先月の特別例会も盛況に終えることが出来ました。今度は学習サロンの出番です。第6波など来ないように！
山口 三郎

◆12月に入り、怪しいコロナの新型が出現し不安がつのりますが、「生涯学習サロン」の無事開催(3年

振り)を切に祈っています。
馬場 征彦

◆コロナなんか吹っ飛ばし、さあ新しい活動に向けて！
田中 信昭

俳句同好会便り

私の一句〈十二月の句会から〉

河合 和郎

コロナも少し落ち着いたので、今年最後の句会はうかい鳥山で開催。定例句会で盛り上がったところで食事会へ。満足感一杯の一日だった。

落葉踏み老いの二人の散歩道 野口 浩平

日常の一コマを一句に。俳句には難しい言葉や難解な表現は要らない。さり気ない毎日が材料。

秋日和恵比寿顔して妻笑ふ 東山 榮

作者は卒寿の人。健康長寿の秘訣は良き伴侶との穏やかな毎日が不可欠。恵比須顔の笑顔が宝。

冬ざれや痩せた瀬に立つ鷺の群 矢島 一雄

淋しい冬景色を一句に。餌を求めて瀬に立つ鷺の群。作者は絵画的な俳句の世界を得意とする。

冬枯や思いおもひの樹の姿 池田ときえ

葉を落とし裸木となった山の木々は百樹百様の姿を見せている。その変幻自在に作者は共鳴。

古本や吹雪の駅の忘れ物 田中 信昭

読みさしの本が駅のベンチに忘れられている。列車は吹雪の中へ。实景の描写のみで余韻を。

綿虫を追ふて舞ふ子ら保育園 下山 邦夫

子供達の無邪気な世界が描けた。綿虫を追って舞う幼児たち。正にメルヘンの世界がそこに。

山茶花や音嫺やかに地に還る 飯田富美子

音もなく散り積もる山茶花の花をじっと見つめる作者。地に還る花の別れ唄を聞きながら。

山眠る長き車列は故郷へ 馬場 征彦

年末の帰郷風景か。車窓に映りゆくふる里の山々はもう眠っている。心は懐かしい故郷へ。

雪吊やびんと張りたる夜の静寂 河合 和郎

深々と降り続く雪。雪吊の綱は重みに耐えてびんと張っている。音なき雪の夜の庭園を詠んだ。

編集後記

本年最後の編集作業が終了しました。皆様方のご協力に感謝です。内山雅之

